



新春対談

舟崎克彦さん(絵本・童話作家)

& 清原慶子市長

絵本描き、生き物にふれて育った、子ども時代

清原 舟崎さん、文章だけでなく本によつて絵も描かれます。また、芸術性の高いものが「アカデミックなもの」さながらかかるといって、子どもでも描いてます。内容的にジャンルも幅広いですが、ともも多才でうらやましいですが、お子さんの頃から表現することがお好きだったんですか？

舟崎 子ども時代は表現欲が旺盛で、絵ばかり描いていました。授業でも、教科書の隅は書きはかりして、先生のペンで隠したりして、デイスターのキキョウややぶの鳥の絵なんかをよく描いていました。

清原 舟崎さんの絵を拝見しているとき、動物が出てくるんですが、生き物の個性だとか生態について、特別に勉強されたんですか？

はじめての絵本事業

平成15年8月から始まった「はじめての絵本(ブックスタート)事業」。絵本を通して赤ちゃんを楽しめる時間ももち、親子のコミュニケーションを深めるきっかけを提供することを目的としています。

3~4カ月児健診の会場(総合保健センター)で、健診を受診する赤ちゃんとお保護者の方におすすの絵本の紹介などをしながら、ブックスタートパックをお渡ししています。パックの内容は現在、絵本「いないいないばあ」(松谷みよ子/文 瀬川康男/画 童心社)または「かたごんごんかたごんごん」(安西水丸/作 福音館書店)のいずれか1冊、赤ちゃん向けブックリスト(0~3歳のお子さん向け絵本12冊を紹介) 市立図書館の利用案内など。

「絵本館(仮称)」の整備構想

市では現在、「絵本館(仮称)」の整備に向けた検討を進めています。昨年は、市民のみなさんを対象に、絵本館整備に向けたアンケート調査や、関係団体、市内の絵本作家のみなさんへの聞き取り調査などを行い、調査研究を行いました。絵本館は、子どもから大人まで絵本の魅力に出会い、絵本をとおして親子がふれあうことのできる場として構想されています。日本の絵本文化の中心を担う多くの作家や画家が住み、市民による地域・家庭文庫活動の長い伝統のある三鷹市ならではの絵本文化の発信が期待されます。今後、市としての基本的な考え方をまとめて公表し、来年度の早い時期に、市民のみなさんのご意見をお伺いする予定です。

三鷹ゆかりの絵本・童話作家による絵本・児童書

- 「まるいちゃん」とひつじ / フランソワーズ/文・絵 与田準一/訳 岩波書店
- 「きかしがしまむかし」 / 与田準一/文 村上勉/絵 フレーベル館
- 「ちずあそび」 / 吉村証子/著 帆足次郎/絵 岩崎書店
- 「鹿よ おれの兄弟よ」 / 神沢利子/作 G・D・バロリーシ/絵 福音館書店
- 「くまの子うーフ」 / 神沢利子/作 井上洋介/絵 ポプラ社
- 「くまであひけ」 / 高木あきこ/作 田頭よしただ/絵 ひさかたチャイルド
- 「いたってどんなこと」 / 神沢利子/作 片山健/絵 福音館書店
- 「源平絵巻物語第一巻 牛若丸」 / 赤羽末吉/絵 今西祐行/文 備成社
- 「ファンファン・ファーマシー」 / 柏葉幸子/作 荒木慎司/絵 小学館
- 「かいたんハテナ?」 / スズキコージ/絵 小学館
- 「肥後の石工」 / 今西祐行/作 岩波書店



「はじめての絵本」は親子のふれあいの場を、3~4カ月児健診の会場(総合保健センター)で、健診を受診する赤ちゃんとお保護者の方におすすの絵本の紹介などをしながら、ブックスタートパックをお渡ししています。パックの内容は現在、絵本「いないいないばあ」(松谷みよ子/文 瀬川康男/画 童心社)または「かたごんごんかたごんごん」(安西水丸/作 福音館書店)のいずれか1冊、赤ちゃん向けブックリスト(0~3歳のお子さん向け絵本12冊を紹介) 市立図書館の利用案内など。

清原 やっほいでも見えてくれないと困るわね笑。たしかに三鷹は都市自然が共存しているのが大きな特色です。舟崎さんにはまさにぴったりなまちかもぜひぜひおねがいしたいです。

親子が共に絵本を見ることは、一緒に旅をしていることと同じなんです。

舟崎克彦



(三鷹図書館にて)

「はじめての絵本」は親子のふれあいの場を、3~4カ月児健診の会場(総合保健センター)で、健診を受診する赤ちゃんとお保護者の方におすすの絵本の紹介などをしながら、ブックスタートパックをお渡ししています。パックの内容は現在、絵本「いないいないばあ」(松谷みよ子/文 瀬川康男/画 童心社)または「かたごんごんかたごんごん」(安西水丸/作 福音館書店)のいずれか1冊、赤ちゃん向けブックリスト(0~3歳のお子さん向け絵本12冊を紹介) 市立図書館の利用案内など。

作家として注目したい市の「絵本館」構想

清原 私は、市長に就任する以前から三鷹市に「絵本館」をつくらたいという構想を抱いていて、いまその実現に向けて検討を重ねています。なぜ、絵本館なのかという点について、私が絵本を通して、子どもと大人とをつなぐ役割を担うと考えているからです。

「はじめての絵本」そして「絵本館」。三鷹市を絵本文化がはぐくまれ、発信するまちに。

清原市長

清原市長も大ファン！ 『なんでもはかせのなんでもパンツ』

舟崎克彦(文) 長新太(絵)のコンビによる絵本。世の中の何にでもはかせが、太陽や月にまでパンツをはかせようと宇宙へ。しかし、自分のパンツをなくしてしまう。深い意味があるような、ないような、不思議なおかしさに満ちた作品です。

「はじめての絵本」は親子のふれあいの場を、3~4カ月児健診の会場(総合保健センター)で、健診を受診する赤ちゃんとお保護者の方におすすの絵本の紹介などをしながら、ブックスタートパックをお渡ししています。パックの内容は現在、絵本「いないいないばあ」(松谷みよ子/文 瀬川康男/画 童心社)または「かたごんごんかたごんごん」(安西水丸/作 福音館書店)のいずれか1冊、赤ちゃん向けブックリスト(0~3歳のお子さん向け絵本12冊を紹介) 市立図書館の利用案内など。

清原慶子市長 Keiko Kiyohara 1951年、東京都生まれ。慶應義塾大学、同大学院で学んだ後、ルーテル学院大学文学部助教授・教授、東京工科大学メディア学部教授・学部長等をを経て、2003年4月から三鷹市長。

舟崎さん、文章だけでなく本によつて絵も描かれます。また、芸術性の高いものが「アカデミックなもの」さながらかかるといって、子どもでも描いてます。内容的にジャンルも幅広いですが、ともも多才でうらやましいですが、お子さんの頃から表現することがお好きだったんですか？

舟崎 子ども時代は表現欲が旺盛で、絵ばかり描いていました。授業でも、教科書の隅は書きはかりして、先生のペンで隠したりして、デイスターのキキョウややぶの鳥の絵なんかをよく描いていました。

清原 舟崎さんの絵を拝見しているとき、動物が出てくるんですが、生き物の個性だとか生態について、特別に勉強されたんですか？